

# 子ども女性

## 小平市における子ども・子育て支援新制度はどのようなものか

常松大介議員(フオ) 新制度の実施で利用者にとどのような変化が生ずるのか。

市長 新制度へ移行する幼稚園、保育園を現在利用している人は、今までと違い、教育・保育の認定が必要となり、認定には市への申請が必要となるなどの変化がある。新制度の認定申請や利用申し込みの時期等は検討中であり、決定し次第、市民への説明会の開催も含め市報や市ホームページ等でお知らせしていく。

## 通園、通学時の安全対策について

川里春治議員(政和) 通園、通学時の安全対策は。

市長 通園時の対策として、懇談会や園だよりの配布等を通じて、危険箇所への注意を促しているほか、園児には日常保育の中で安全教育を実施している。教育長 通学時の対策として、毎年度、学校や保護者等の協力を得て通学路の合同点検を実施し、危険箇所と必要な対策の認識を共有しながら児童の安全を図るよう努めている。

## 今後の保育待機児童対策について

川里春治議員(政和) 保育待機児童の直近の実数は。また、

今後の保育所設置等の見直しは。市長 待機児童数は本年4月時点で167人である。施設整備は策定中の計画に沿って進めることになるが、来年度には、鈴木保育園の移行園と民間事業者から提案を受けて整備を進める2園を含む3園が新規に開設予定である。それ以降も、保育ニーズの高い1、2歳児の定員確保を重視した認定こども園等の施設を中心に整備を進めていく。

## 小 平 市 の 保 育 の 全 体 計 画 が 必 要 で す

村松まさみ議員(虹ひ) ①鈴木保育園の園舎はどうなるのか。②今後の保育園の民営化についての検討は。③保育の全体計画が必要ではないか。市長 ①現時点では決まっていない。今後、行政需要の動向等も見きわめながら総合的に検討していく。

## 津本裕子議員(公明) ①乳幼児の健康診査を東西出張所でも開催できないか。

市長 ①健康センターには診査項目を円滑に実施できる機器等があり、事業運営面等から実施は容易でないと考えている。②本年度は鈴木公民館で花小金井南児童館主催の出張児童館を開催した。今後は、他の児童館の事業としても実施するよう調整を進めていく。

## 小 平 の 子 ども た ち の 笑 顔 を 守 る た め に

津本裕子議員(公明) ①乳幼児の健康診査を東西出張所でも開催できないか。

市長 ①健康センターには診査項目を円滑に実施できる機器等があり、事業運営面等から実施は容易でないと考えている。②本年度は鈴木公民館で花小金井南児童館主催の出張児童館を開催した。今後は、他の児童館の事業としても実施するよう調整を進めていく。

## 子どもが安心して暮らしていけるまちづくりについて

村松まさみ議員(虹ひ) ①居場所が不明な児童・生徒、いわゆる消えた子どもが問題となったが、市では何人いたのか。②虐待から子どもたちの安全を確保するための今後の対策は。市長 ①本年9月時点で居住実態が把握できない児童はいない。②乳児家庭全戸訪問事業等を通じて子育て家庭が孤立しない環境を整備し、養育支援が必要

## 津本裕子議員(公明) ①男女共同参画社会の実現のための課題をどのように捉えているか。

市長 ①まずは、男女共同参画社会を目指して制定した推進条例の趣旨を多くの人に理解してもらうことが必要と捉えている。②これまでも条例の制定等を積極的に進めてきたが、今後も担当部署にかかわらず、市を挙げて推進していく。

## 女性職員が管理職をめざし活躍しやすい環境整備で20230の実現を

岩本博子議員(生ネ) ①女性管理職を2020年までに30%とする国の目標実現に向けて、市の具体的なプロセスは。②女性管理職をふやすための意識改革についての認識は。市長 ①庁内での連携として、男女共同参画推進委員会での情報交換や連携を図った研修等を実施している。また、今後、女性職員との意見交換の機会等を検討していく。②さまざまな手段を通じ、女性職員が管理職を目指しやすい雰囲気づくりに取り組んでいく。

# 防災 防犯

## 災害等から市民の生命、財産を守る安全安心な小平を目指して

坂井やすのり議員(みな) ①小中学校昇降口付近の窓ガラスの飛散防止フィルムの整備状況は。②商店街等へ防犯カメラを設

置し、商店街振興や防犯対策の向上を図るべきではないか。教育長 ①本年度、小学校の児童昇降口等の欄間の窓ガラスにフィルムを貼付した。中学校でも同様の整備を予定している。市長 ②防犯対策の向上に一定の効果があると認識しているが、個人情報保護の観点から商店街振興につながるのを見きわめる必要があると考えている。

## 地震などの災害発生への備えを市民とともに

日向美砂子議員(生ネ) ①避難所運営マニュアル策定の進捗状況は。②防災市民協力員のような仕組みをつくれぬか。市長 ①避難所管理運営マニュアル作成の指針を策定した。今後、この指針を活用し、各施設のマニュアル作成を推進する。②現在、市では自主防災組織の育成、支援を進めているが、自主防災組織等の結成がない地域もあり、新たな仕組みづくり等については今後研究していく。

## 増加する空き家のさらなる対策を

石毛航太郎議員(フオ) ①市内の空き家の件数とそのうち危険を及ぼすおそれのあるものは。②納税通知書に空き家の管理に関する条例を周知するチラシを同封して送ることはできるか。市長 ①空き家は木造51件、非木造が4件である。また管理不全な状態と認められた28件の空き家のうち周囲に危険を及ぼすおそれがあるものが27件である。②既に口座振替依頼書等の複数の文書を同封しているため、さらに税関係以外の文書を同封することは現在考えていない。

## 振り込め詐欺の被害の未然防止の強化を

石毛航太郎議員(フオ) ①市内の振り込め詐欺の直近5年間の発生件数と被害金額は。

市長 ①平成21年が11件で約1千2百万円、22年が12件で約2千7百万円、23年が24件で約6千5百万円、24年が30件で約1億9千万円、昨年が46件で約1億3千万円である。②金融機関店頭等で振り込め詐欺被害防止キャンペーンを実施したり、市の窓口封筒等に注意喚起の文章を記載している。

## 今後の空き家対策について

滝口幸一議員(フオ) ①小平市空き家等の適正な管理に関する条例施行後の状況は。②条例を適用しても適正な管理に至らなかった空き家の割合とその理由は。市長 ①管理不全な状態と認められた空き家の件数が、平成24年度60件、25年度44件、本年度8月末で24件の計128件あった。②所有者等の所在が把握できないことや所有者等の経済的な問題などの理由で、約3割が適正な管理に至らなかった。

# 産業 暮らし

## 第10回小平グリーンロード灯りまつりに向けて

小林洋子議員(フオ) ①会場同士が離れている場合があるが、連絡バスの運行は可能か。市長 ①グリーンロードは遊歩

道で来場者以外の通行も多く、入場口が狭い会場も多いことから、各会場への車両の乗り入れは難しいと考えている。②開始時刻は、灯籠がろうそくの明かりで見えるための暗さが必要であり、終了時刻は、灯籠の出展者に小学生が多いことや近隣住民への影響を考慮すると難しいと考える。

## 安全な市民まつりの運営のために市が行えることは何か

石毛航太郎議員(フオ) ①市民まつりの火気使用器具等の安全対策は。②市民まつり実行委員会や市の火災対策の取り組みは。市長 ①模擬店出店者向けの説明会において消防署から職員を派遣してもらい、火の取り扱い上の諸注意の周知を図っている。②毎年、市民まつり実施の届出書を提出する際に火災予防処置や避難体制等の会場管理計画書を消防署へ提出しているほか、当日は各所に消火器を配置し、消防署の立入検査を行っている。

## 市民活動を活性化させる市民掲示板の設置を

橋本久雄議員(虹ひ) 自治会の掲示板は自治会のある地域とない地域では情報量に大きな差が生じる。誰もが自由に発信し、知ることができる市民掲示板を設置できないか。市長 掲示物の管理等に課題があると聞いており、現在のところ設置は予定していない。市では自治会が管理運営する掲示板が80基前後設置されているので、設置費補助を引き続き行うとともに活用方法を研究していく。